

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表 (要旨)

平成24年9月30日現在

(単位:千円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
流動資産	28,458,394
固定資産	6,495,240
有形固定資産	3,647,127
無形固定資産	48,544
投資その他の資産	2,799,568
<b>資産合計</b>	<b>34,953,634</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	16,976,960
固定負債	599,315
<b>負債合計</b>	<b>17,576,276</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	18,003,599
資本金	5,195,057
資本剰余金	5,087,248
利益剰余金	8,027,943
自己株式	△ 306,649
その他の包括利益累計額	△ 626,241
その他有価証券評価差額金	124,313
為替換算調整勘定	△ 750,554
<b>純資産合計</b>	<b>17,377,358</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,953,634</b>

### 四半期連結損益計算書 (要旨)

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

(単位:千円)

科目	金額
売上高	20,439,796
売上原価	19,117,783
売上総利益	1,322,013
販売費及び一般管理費	1,948,388
営業損失(△)	△ 626,374
営業外収益	131,415
営業外費用	14,377
経常損失(△)	△ 509,336
特別利益	792
特別損失	48,919
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 557,463
法人税等	△ 183,700
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 373,762
少数株主利益	-
<b>四半期純損失(△)</b>	<b>△ 373,762</b>

## 会社概況

商号	大成温調株式会社
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目47番1号 TEL.03(5742)7301(代) FAX.03(5742)4551
創業	昭和16年4月3日
設立	昭和27年12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
従業員の状況 (平成24年9月30日現在)	654名
役員の状況 (平成24年10月1日現在)	代表取締役会長 水谷大介 代表取締役社長 山口隆義 取締役副社長 中尾信雄 専務取締役 仲吉弘一 専務取締役 但野光吉 常務取締役 中村恭三 常務取締役 志村和昭 常務取締役 水谷憲一 取締役 吉野利幸 取締役 佐藤正夫 常勤監査役 宇川一夫 監査役 杉山博康 監査役 大久保和正

(注) 監査役杉山博康氏及び大久保和正氏は、社外監査役であります。

### 当社ホームページのご案内

<http://www.taisei-oncho.co.jp/>

当社のより詳細な最新情報は当社ホームページに掲載しております。事業や業績など、株主の皆さまに当社をより深くご理解して頂くためのコンテンツも揃えておりますので、是非、ご覧下さい。



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 株式の状況 平成24年9月30日現在

- 発行可能株式総数 ……………55,000,000株
- 発行済株式の総数 ……………14,364,975株
- 株主数 ……………1,944名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
アミー・コーポレーション(株)	2,686千株	20.2%
大成温調取引先持株会	1,528	11.5
水谷日出夫	1,112	8.4
大成温調従業員持株会	829	6.2
河村和平	803	6.0
河村直美	250	1.9
小川恭弘	182	1.4
青木錠衛	180	1.4
和田ふみ子	150	1.1
(株)みずほ銀行	146	1.1

(注) 上記のほかに自己株式(1,079,320株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月
- 基準日** 毎年3月31日
- 定時株主総会・期末配当** 中間配当を行う場合には9月30日
- 中間配当** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
- 株主名簿管理人** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 事務取扱場所** 〒183-8701
- (郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10
- 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) ☎0120-176-417
- (インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
  - 未払配当金の支払について株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
- 公告方法** 電子公告の方法により、当社ウェブサイトの下記アドレスに掲載して行います。  
<http://www.taisei-oncho.co.jp/ir/notice.html>  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



第62期 中間報告書  
2012.04.1~2012.09.30

人の呼吸に  
もっとやさしく

TAISEI ONCHO

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日ごろから格別のご支援、ご愛顧を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

ここに当社第62期上半期の業績についてご報告申し上げます。

昨年度よりスタートした成長戦略「Decade Strategy 2020」も2年目を迎え、技術力、人財力の強化、より広域的な事業領域の拡大に向けての取り組みも、より本格的な運用段階に入っております。

本62期における特徴的な取り組みといたしましては、国内外一体化を基本方針に、国際展開を全社あげて推進していくための組織刷新を行いました。海外業務全般を管理する「海外統括グループ」を設置すると共に、担当セクションを地域ごとに4つのプロフィットセンターに再編して、それぞれに管掌役員を配置し、各地域の強化拡大を図ってまいります。

また、地球規模で考えるべきテーマである環境問題につきましても、会社の重点目標に掲げ、多角的に取り組んでおります。今期からは新たに「省エネカタログ」を発行し、お客様の需要に対応した、よりきめ細かく効率的な節電、省エネ提案を図ると共に、7月にはお客様に節電をより身近に考えて頂くために、節電に関する最先端技術を紹介した「建物の節電セミナー」を開催いたしました。また、地中熱や太陽光といった自然エネルギーを熱源としたシステムの開発も積極的に実施しております。

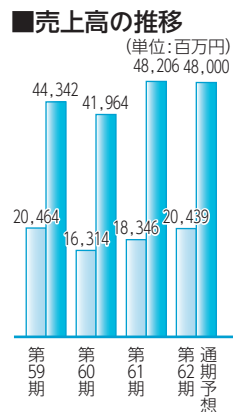
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 水谷 大介  
代表取締役社長 山口 隆義

## 財務ハイライト (連結)

■ 中間期 ■ 通期



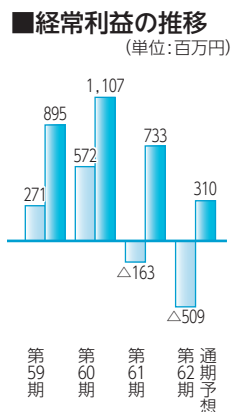
### 売上高

**20,439**百万円  
前年同期比2,093百万円増 (+11.4%)

### ポイント

売上高は、中国の子会社において前期比大幅増等により、前年同期11.4%増の204億39百万円となりました。

■ 中間期 ■ 通期



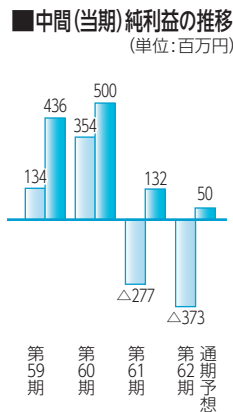
### 経常利益

**△509**百万円  
前年同期比346百万円減

### ポイント

経常損失は、一部の大型工事において多額の工事損失引当金を計上したこと等により、5億9百万円(前年同期は経常損失1億63百万円)となりました。

■ 中間(当期) ■ 通期



### 中間(当期)純利益

**△373**百万円  
前年同期比96百万円減

### ポイント

中間純損失は、特別損失に投資有価証券評価損を計上したこと等により、3億73百万円(前年同期は中間純損失2億77百万円)となりました。

## 大成温調の環境事業 (節電、省エネへの取り組み)

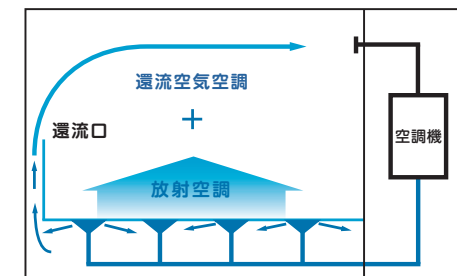
### 輻射冷暖房システム

天井や床の表面温度を調節することにより、輻射効果を利用して部屋全体を空調する「輻射冷暖房システム」は、室内温度に左右されることが少ないため、室内空気温度を冷房では高め、暖房では低めに設定しても、同じ快適さをえることができます。

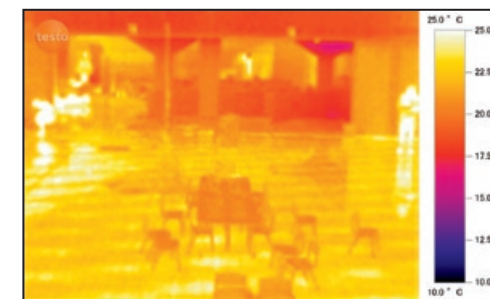
省エネルギー技術の一環として、当社では数年前より「輻射冷暖房システム」の開発を進めておりましたが、このたび青森の保幼稚園施設の一部に、同システムが採用されました。

同施設の床根太には「二方向噴流ノズル」という新しいタイプのノズルが736個設置されており、このノズルにより従来のノズルよりも広い範囲に空気を送り届けることが可能となるため、より効率よく床表面温度を制御することができます。

暖房運転時に効果を測定したところ、部屋全体が温度むらのない良好な温熱環境をえられることが実証されました。



二方向噴流ノズル概要図



効果測定時のサーモカメラ画像

### 建物の節電セミナー 開催

当社の節電、省エネへの事業展開の一環として、7月に「建物の節電セミナー」を開催いたしました。

当日は、地中熱利用システムの開発や節電提案事例など当社の取り組みを紹介した他、太陽光発電の最新技術に関する講演や、メーカー各社による節電商品の紹介展示などが行われました。



### 省エネカタログ

お客様に、省エネや節電の具体的方策やその効果についてのご理解を深めて頂くために、本年度は2回にわたって「省エネカタログ」を発行いたしました。省エネシステムや節電対応機器、提案事例などが、30ページにわたり紹介されています。

